

2020年11月9日

上場会社名 原田工業株式会社
 コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 康晴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長 (氏名) 青木 隆
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3765-4321

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,969	34.0	1,482		1,648		1,251	
2020年3月期第2四半期	21,182	0.8	348	52.1	320	47.6	135	74.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,471百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 101百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	57.55	
2020年3月期第2四半期	6.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	31,073	12,091	38.9	555.92
2020年3月期	34,437	13,726	39.9	631.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,091百万円 2020年3月期 13,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		7.50	7.50
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。今後、予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	17.3	950		980		750		34.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	21,758,000 株	2020年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,168 株	2020年3月期	7,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	21,750,847 株	2020年3月期2Q	21,750,898 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による企業収益の悪化、個人消費の減少等により経済活動が停滞し、景気は急減速いたしました。期後半においては、緩やかな回復の兆しが見られるものの、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、こうした世界経済の停滞により、自動車の生産台数が日本、アジア、北中米、欧州、全ての市場において大幅な減産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ減産となりました。

このような状況のもと、当社グループは足元における収益確保及びコスト競争力の強化を目的として、新たに「第二次コスト構造改革計画」を2020年4月に策定し、収益力の向上に取り組んでまいりました。「第二次コスト構造改革計画」では、2016年4月～2018年3月の2か年で取り組んでまいりました第一次コスト構造改革計画における材料費の削減等の施策を更に深掘すると共に、徹底した経費削減等、事業活動に係る全てのコストに関し、一段上の抜本的な構造の改革を断行してまいりました。

一方、中長期的な視点では、コネクテッドが実現する豊かなカーライフに貢献することを目指し、「新たな成長への挑戦」を基本戦略とした4か年（2019年4月～2023年3月）の中期経営計画「NEW GROWTH」に基づき、各施策の実行に注力してまいりました。「NEW GROWTH」では、「車載アンテナビジネスの強化」、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」、「更なる成長の土台となる組織基盤の強化」の3つの戦略を掲げ、コスト構造改革の更なる進化による一層の収益力の向上に加え、自動運転時代到来に向けたものづくりの高度化等、特に「車載アンテナビジネスの強化」に係る諸施策を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な経済の低迷による世界の自動車生産台数の大幅な減少等により139億69百万円（前年同期比34.0%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少に伴う収益への影響を最小限に抑えるべく、固定費の抑制や徹底した経費の削減等に取り組んだものの、営業損失は14億82百万円（前年同期は営業利益3億48百万円）、経常損失は16億48百万円（前年同期は経常利益3億20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は12億51百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億35百万円）となりました。なお、海外連結子会社における当第2四半期連結累計期間は、2020年1月から6月であり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って各国で都市封鎖が行われる等、世界経済が急激に低迷した期間を含み、各国工場では稼働の停止、また各国政府の通達に沿った在宅勤務の実施等、事業活動に大きな影響が出ました。

下期は、一部地域における緩やかな経済の回復に伴い、世界の自動車生産台数の増加が見込まれることから、売上高は200億30百万円となる見込みであります。収益面においては、「第二次コスト構造改革計画」における各施策の推進や固定費、経費の徹底した削減、また、売上高の伸長に伴い、一層の収益改善効果が見込める材料費削減施策の推進等によるコスト構造の変革が見込めることより、営業利益は5億32百万円、経常利益は6億68百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億1百万円となる見込みであります。

この結果、通期の業績は売上高340億円、営業損失9億50百万円、経常損失9億80百万円、親会社株主に帰属する当期純損失7億50百万円となる見込みです。

また、当第2四半期累計期間の個別決算において、当社は、連結子会社のHARADA INDUSTRIES (MEXICO), S.A. DE C.V. 及びHARADA AUTOMOTIVE ANTENNA (PHILIPPINES), INC. の財政状態に鑑みて、債務超過分について貸倒引当金繰入額2億8百万円を特別損失として計上いたしました。なお、個別決算における当該特別損失は連結決算上消去されるため、四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数の大幅な減少等により、外部売上高は52億87百万円（前年同期比30.4%減）、セグメント間の内部売上高は8億65百万円（同35.4%減）、営業損失は6億47百万円（前年同期は営業損失53百万円）となりました。

②アジア

中国市場では自動車の生産台数が回復しつつあるものの、前年同期に比べ大幅に減少したことや為替の影響等により、外部売上高は32億41百万円（前年同期比30.6%減）、セグメント間の内部売上高は55億31百万円（同24.4%減）、営業損失は5億43百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

③北中米

北米市場においては、大幅に自動車生産台数が減少したことに加え、為替の影響等により、外部売上高は39億82百万円（前年同期比39.8%減）、セグメント間の内部売上高は1億59百万円（同290.1%増）、営業損失は3億95百万円（前年同期は営業利益1億44百万円）となりました。

④欧州

欧州市場における自動車生産台数の大幅な減少や為替の影響等もあり、外部売上高は14億58百万円（前年同期比36.6%減）、セグメント間の内部売上高は4億51百万円（同19.9%減）、営業損失は86百万円（前年同期は営業利益1億84百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことではありますが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は212億42百万円（前連結会計年度末248億84百万円）となり、36億41百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が23億1百万円、「受取手形及び売掛金」が14億54百万円減少したことによるものであります。固定資産は98億30百万円（前連結会計年度末95億53百万円）となり、2億77百万円増加いたしました。これは主に「有形固定資産」が1億17百万円減少し、「投資その他の資産」が4億47百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は310億73百万円（前連結会計年度末344億37百万円）となり、33億64百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は170億37百万円（前連結会計年度末188億65百万円）となり、18億27百万円減少いたしました。これは主に「短期借入金」が8億71百万円増加し、「1年内返済予定の長期借入金」が9億78百万円、「支払手形及び買掛金」が8億19百万円減少したことによるものであります。固定負債は19億43百万円（前連結会計年度末18億45百万円）となり、98百万円増加いたしました。これは主に「退職給付に係る負債」が48百万円減少し、「長期借入金」が1億76百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は189億81百万円（前連結会計年度末207億11百万円）となり、17億29百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は120億91百万円（前連結会計年度末137億26百万円）となり、16億34百万円減少いたしました。これは主に「利益剰余金」が14億14百万円、「為替換算調整勘定」が2億33百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して23億1百万円減少し、35億61百万円（前連結会計年度末比39.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「売上債権の減少額」13億65百万円、「減価償却費」5億48百万円等の増加要因がありましたが、「税金等調整前四半期純損失」16億49百万円、「仕入債務の減少額」12億11百万円、「たな卸資産の増加額」5億68百万円、「法人税等の支払額」3億57百万円等の減少要因により、17億11百万円の支出（前年同期は1億61百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」3億96百万円等の減少要因により、4億33百万円の支出（前年同期は7億51百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」263億28百万円等の増加要因がありましたが、「短期借入金の返済による支出」253億36百万円、「長期借入金の返済による支出」10億円等の減少要因により、52百万円の支出（前年同期は4億45百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業活動への影響を合理的に算出することが困難なため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、次のとおりといたしました。

今後の世界経済、日本国内経済は、新型コロナウイルス感染拡大による景気の減速からの緩やかな回復の兆しが見られるものの、依然として不透明な状況が続いております。

また、当社グループの属する自動車業界におきましては、世界の自動車生産台数は、上期に比べ下期は回復傾向にあるものの、前期と比較すると当期は大幅に減少する見込みであります。

このような状況のもと、2020年4月に策定した「第二次コスト構造改革計画」の推進により、足元における収益確保及びコスト競争力の強化に努めてまいります。

現時点での2021年3月期の連結業績予想につきましては、下記のとおりであります。

	（ご参考）	
	2021年3月期予想	2020年3月期実績
売上高	340億円	411億36百万円
営業利益	△9億50百万円	6億83百万円
経常利益	△9億80百万円	4億87百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△7億50百万円	2億円
1株当たり当期純利益	△34円48銭	9円21銭

上記2021年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおりであります。

なお、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,881,254	3,579,574
受取手形及び売掛金	6,693,388	5,239,032
商品及び製品	5,750,918	5,826,410
仕掛品	670,765	533,584
原材料及び貯蔵品	4,715,590	5,084,730
その他	1,194,199	1,002,837
貸倒引当金	△22,045	△23,833
流動資産合計	24,884,071	21,242,337
固定資産		
有形固定資産	6,655,728	6,538,094
無形固定資産	345,305	293,180
投資その他の資産	2,552,618	2,999,710
固定資産合計	9,553,652	9,830,985
資産合計	34,437,723	31,073,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,169,344	2,350,238
電子記録債務	631,159	375,130
短期借入金	11,461,618	12,333,522
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	21,669
未払法人税等	606,257	329,586
賞与引当金	299,257	344,788
役員賞与引当金	25,500	—
その他	1,672,516	1,282,844
流動負債合計	18,865,652	17,037,779
固定負債		
長期借入金	500,000	676,970
退職給付に係る負債	216,276	168,210
その他	1,129,480	1,098,621
固定負債合計	1,845,757	1,943,802
負債合計	20,711,409	18,981,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	10,211,971	8,797,073
自己株式	△2,377	△2,402
株主資本合計	14,088,756	12,673,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,162	△5,192
為替換算調整勘定	△190,434	△423,628
退職給付に係る調整累計額	△162,845	△153,272
その他の包括利益累計額合計	△362,442	△582,093
純資産合計	13,726,313	12,091,740
負債純資産合計	34,437,723	31,073,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	21,182,384	13,969,942
売上原価	16,687,104	11,724,800
売上総利益	4,495,280	2,245,142
販売費及び一般管理費	4,147,083	3,727,921
営業利益又は営業損失(△)	348,197	△1,482,779
営業外収益		
助成金収入	300	17,452
その他	103,644	53,788
営業外収益合計	103,944	71,240
営業外費用		
支払利息	128,109	134,119
為替差損	—	98,973
その他	3,470	3,929
営業外費用合計	131,579	237,022
経常利益又は経常損失(△)	320,562	△1,648,560
特別利益		
固定資産売却益	889	1,288
特別利益合計	889	1,288
特別損失		
固定資産売却損	14	583
固定資産除却損	4,513	1,452
その他	1,554	399
特別損失合計	6,083	2,434
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	315,368	△1,649,706
法人税、住民税及び事業税	205,794	38,881
法人税等調整額	△26,080	△436,822
法人税等合計	179,713	△397,940
四半期純利益又は四半期純損失(△)	135,654	△1,251,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	135,654	△1,251,766

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	135,654	△1,251,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,782	3,970
為替換算調整勘定	△242,330	△233,194
退職給付に係る調整額	7,129	9,573
その他の包括利益合計	△236,982	△219,650
四半期包括利益	△101,328	△1,471,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,328	△1,471,416
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	315,368	△1,649,706
減価償却費	487,303	548,636
支払利息	128,109	134,119
為替差損益(△は益)	51,151	136,745
売上債権の増減額(△は増加)	251,561	1,365,616
たな卸資産の増減額(△は増加)	964,981	△568,009
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,231,198	△1,211,370
その他	24,400	△7,985
小計	991,677	△1,251,954
利息の支払額	△120,643	△118,033
法人税等の支払額	△1,052,083	△357,519
その他の収入	19,812	16,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	△161,236	△1,711,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△659,300	△396,322
その他	△91,823	△37,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△751,123	△433,528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	19,723,222	26,328,160
短期借入金の返済による支出	△19,952,673	△25,336,734
長期借入れによる収入	500,000	199,580
長期借入金の返済による支出	△500,000	△1,000,000
リース債務の返済による支出	△53,188	△80,733
配当金の支払額	△162,400	△162,391
その他	—	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,040	△52,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	△139,944	△105,156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,497,344	△2,301,925
現金及び現金同等物の期首残高	6,870,776	5,863,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,373,431	3,561,304

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,591,630	4,672,282	6,618,247	2,300,224	21,182,384	—	21,182,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,340,016	7,314,528	40,854	564,022	9,259,421	△9,259,421	—
計	8,931,646	11,986,811	6,659,101	2,864,247	30,441,806	△9,259,421	21,182,384
セグメント利益又は損失(△)	△53,432	△29,144	144,968	184,476	246,869	101,328	348,197

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額101,328千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,287,134	3,241,581	3,982,895	1,458,330	13,969,942	—	13,969,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	865,936	5,531,181	159,354	451,565	7,008,037	△7,008,037	—
計	6,153,070	8,772,762	4,142,250	1,909,895	20,977,979	△7,008,037	13,969,942
セグメント損失(△)	△647,385	△543,282	△395,248	△86,939	△1,672,855	190,076	△1,482,779

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額190,076千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。